

令和4年8月18日（日）、長野県松本市役所にて、松本市主催のフレイルサポート医研修が開催されました。

国宝松本城を横に見る松本市役所の会場にて30名の医師の方々にお集まりいただき、フレイルの理解や対応等について研修を行いました。

開会に先立ち松本市嵯峨宏一副市長にご挨拶をいただき、鳥羽理事長、荒木副院長、田村糖尿病・代謝・内分泌内科専門部長、本川研究員の講義を行い、その後5チームに分かれワークショップを行い、松本市立病院中村雅彦病院長による総評にて閉会となりました。



当日は 30 名の医師に受講いただき、午後のグループワークでは、医師による活発な意見交換が行われました。



今回、東京都以外では初めてのフレイルサポート医研修となりましたが、東京都健康長寿医療センターでは今後も各地区の医師会と連携を取りながら、随時研修会を開催する予定です。また、フレイルサポート 栄養士の研修会も毎年開催しております。
ご意見・ご要望等ございましたら、東京都健康長寿医療センターフレイル予防センター事務局までご連絡願います。

東京都健康長寿医療センター
フレイル予防センター事務局
Mail: frailty@tmghig.jp